



WE21 ジャパンこうほく ニュース



認定特定非営利活動法人WE21 ジャパンこうほくは チャリティ・リユースリサイクルのお店「WEショップこうほく」をボランティアで運営し、その収益でアジアの女性たちが自立して暮らしていけるよう民衆支援活動をしています。

発行 NPO法人WE21 ジャパンこうほく 港北区日吉 2-12-7 TEL/FAX 045-563-1808

2016年12月

<http://we21kk.org>

WE21 ジャパンこうほく



NO. 120

2016年貧困なくそうキャンペーン

ご協力ありがとうございました。

136,633円を子どもセンターてんぼへ送りました。

内訳

10月17日・18日の大倉山店、日吉店の売り上げ合計	101,420円
10月22日のふるさと港北ふれあいまつり売り上げ	20,260円
10月11日～31日の店頭募金合計	14,953円

毎年10月は 貧困をなくすために私たちができることを考える「貧困なくそうキャンペーン」に取り組んでいます。(きっかけは 世界食料デーが10月16日、「貧困撲滅のための国際デー」が10月17日)これまで毎年、アフリカやアジアの開発途上国を取り上げ支援してきましたが、今年は格差が広がる日本では6人に1人の子どもが貧困状態にあり、貧困に苦しむ子どもが多く存在することに目を向け、一緒に考えていきたいと企画しました。



掲示板



9月26日子どもセンターてんぼ学習会にて
事務局長 高橋 温さん



募金箱

支援先は、行き場のない子どもたちの支援活動を行っている、「子どもセンターてんぼ」です。9月26日(月)に、事務局長の高橋温氏をお呼びして、学習会を持ちました。親の失踪、依存症、虐待、ネグレクト、・・・様々な事情で、家庭で安心できる居場所がなくなった子どもたち、又、心や体に傷を負い行き場を失った子どもたちが安心して過ごせる居場所(シェルター)を提供し、子どもたちが自立に向けて共同生活をする自立援助ホームや、居場所のない子どもたちに助言をする電話相談事業を行っている「てんぼ」について学び、この活動を10年つづけている高橋さんの子どもたちへの温かい眼差しを感じました。

10月11日からのキャンペーンでは 子どもセンターてんぼの活動や17・18日の売上を寄付することを伝えつつ、アンケートボードを用意し、「子どもたちに今何が必要か」といくつかの項目を掲げ、来店者の方に必要と思うところにシールを貼っていただきました。日本の子どもの貧困への関心は高く、会話のきっかけともなりたくさんの方に参加していただきました。7項目のうち賛同の多かったのは「子どもの生活を支援する。子供の居場所を作る」「奨学金制度の充実」でした。また、国内のおとなの貧困についても11月8日に学習会を持ちました。私たちのできることを考えていきましょう。

寿支援者交流会の高沢幸男さんに国内貧困についてお話を伺いました。

11月8日(火)10:00~12:00港北区社会福祉協議会団交第二会議室にて

- ・国内失業率は'98の緊縮財政からのリストラ、'99の派遣法制定を節目に悪化。失業は個人の資質の問題ではない。
- ・路上生活者は社会からはじき出されたと感じ、皆を敵とみなしている。目があったら「ニッコリ」から始めよう。
- ・路上で生活していくには相当な知恵と技術が必要。「すごいよね」とほめよう。
- ・信頼があって初めて対話が始まり、社会保障制度などの話を聞いてもらえる。
- ・困ったら当たり前前に助け合える、温もりのある社会を作っていきたい。

*寿支援者交流会・・・横浜市中区寿町は日雇い労働者や路上生活者の町として知られています。1993年「路上や寿町と市民社会をつなぐゆるやかなネットワーク作り」を目的として結成され、炊き出し、パトロール、相談活動などを行っています。こうほくも衣料寄付などで関わりを持ってきました。

チョコ募金キャンペーン 2017 が始まりました！

2016/12/12(月)-2017/2/10(金)の期間で取り組みます

チョコ募金は…イラクの小児がん医療支援、シリアの難民・イラク国内難民支援、福島の子ども達を放射能から守る活動を支援する募金です。500円の募金で六花亭の缶入りチョコをプレゼント。昨年は近隣のWEショップと協力した企画もあり、多くの方の賛同をいただきました。今年のチョコ缶の絵は、ヨーロッパに渡った難民の子ども達の作品です。今年もご協力、よろしくお願いします。

「チョコ募金の集い@WEショップ」

日時：2017年1月21日(土) 13:45~16:00

場所：港北区社会福祉協議会多目的研修室

内容：講演 佐藤真紀さんのイラク・シリアの現地報告
日本イラク医療支援ネットワーク JIM-NET 事務局長
：朗読「その空はなに色」

イラク・シリアから帰国されたばかりの佐藤さんのお話をぜひ聞きに来てください。



「3.11 を忘れない」の集い 報告



10月8日(土) 港北区社会福祉協議会多目的研修室にて、映画上映会と福島の現状と課題を考える講演会を開催し、40名を越える参加がありました。

映画上映「日本と原発4年後」

講演「福島のいま、現状と課題について」

ゲスト:フリージャーナリスト・ブログ「民の声新聞」発行人
鈴木博喜さん

福島支援・人と文化ネットワーク事務局長
郡司真弓さん



映画「日本と原発4年後」をみて

世の中には2種類の、いや3種類の人たちがいる。牧場に例えるとひとの命をエサ、つまり利益の対象としかみていない狼たち、彼らに立ち向かい命を守る羊飼いたち、そして何も考えず平和に暮らす大勢の羊たち。

私もその一匹の羊だった。この映画を観るまでは、この映画には原発の恐ろしさと、それを巧妙に覆い隠し、自分たちの利益のことしか考えていない行政と財界の癒着の構図がはっきりと描かれていた。私は考える羊になった。羊たちを守る河合弁護士たちを助けたい。この映画で観たことを伝えよう、他の羊たちに。

一人でも二人でも羊飼いを増やしたい。そして私もせめて声をあげ、小さくても狼たちにほえかかり、羊飼いを助ける牧羊犬でありたい。



[大倉山ボランティア中舩由美子 記]

映画に続いて行われたゲストのお話にも中舩さんのいう構図は出てきました。特に、何もなかったかのように福島の安全を子ども達を使ってアピールする行政のあり方には、会場からも強い疑問の声があがっていました。

年末年始休業日のお知らせ

大倉山店 12/28(水)~1/5(木)

初売りは 1/6(金)

日吉店 12/28(水)~1/5(木)

初売りは 1/6(金)1/7(土)



ゆうちょ銀行口座開設しました！

年会費の納入・寄付などの振込みにご利用ください

●口座番号：店名 098 普 0666739

●振込み料：ゆうちょ口座間の送金(振込み)は
月3回まで無料